

数値目標の時点のイメージ図

<数値目標の時点のイメージ図>

① 流行初期の数値目標
医療・検査・宿泊療養：数値目標達成のため、数値を入れ込んだ協定等で担保して、毎年度、国に達成状況を報告の上達成状況を確認・公表。

② 流行初期以降の数値目標
医療：
数値を入れ込んだ協定等で担保して、毎年度、国に達成状況を報告の上達成状況を確認・公表。
検査・宿泊療養：
可能な限り数値入りの協定を締結しつつ、定性的な内容の協定でもよいこととする。毎年度、国に達成状況を報告の上達成状況を確認・公表。

COVID-19
の場合



■ 目標値の一覧（時期に応じた目標を設定）

項目 ※1		平時	流行初期／達成期限		流行初期以降／達成期限	
①	協定締結医療機関（入院）の確保病床数	—	○	公表後1週間	○	公表後6か月
②	協定締結医療機関（発熱外来）の確保医療機関数	—	○	公表後1週間	○	公表後6か月
③	協定締結医療機関（自宅療養者等への医療の提供）の機関数	—	—	—	○	公表後6か月
④	協定締結医療機関（後方支援）の機関数	—	—	—	○	公表後6か月
⑤	協定締結医療機関（人材派遣）の確保人数	—	—	—	○	公表後6か月
⑥	個人防護具の備蓄を十分に行う協定締結医療機関の数	○	—	—	—	—
⑦	検査の実施件数（実施能力）・地方衛生研究所等における検査機器の数	—	○	公表後1か月	○	公表後6か月
⑧	協定締結宿泊施設の確保居室数	—	○	公表後1か月	○	公表後6か月
⑨	医療従事者や保健所職員の研修・訓練回数	○	—	—	—	—
⑩	保健所の感染症対応業務を行う人員確保数	—	○	公表後1か月	—	—
	IHEAT要員の確保数	○	—	—	—	—

＜対象となる感染症＞ 新型インフルエンザ等感染症、指定感染症、新感染症

⇒ 予防計画では、これまでの対応の教訓を生かすことができる新型コロナウイルス感染症を念頭に置く

※1・・・⑦、⑨、⑩については、保健所設置市の予防計画においても数値目標を設定する

① 協定締結医療機関（入院）の確保病床数

	流行初期	流行初期以降
確保病床数	1,200床 (うち重症100床)	2,000床 (うち重症150床)
うち感染症病床	75床	75床
うち協定締結により確保する病床	1,125床	1,925床

② 協定締結医療機関（発熱外来）の確保医療機関数

	流行初期	流行初期以降
診療検査医療機関数	1,100機関	1,600機関

③ 協定締結医療機関（自宅療養者等への医療の提供）の機関数

	流行初期以降
自宅療養者等への医療を提供する医療機関数	2,200機関
うち病院	100機関
うち診療所	850機関
うち薬局	1,100機関
うち訪問看護事業所	150機関

④ 協定締結医療機関（後方支援）の機関数

	流行初期以降
後方支援医療機関数	170機関

⑤ 協定締結医療機関（人材派遣）の確保人数

	流行初期以降
派遣可能な医療従事者数	250人
うち医師	100人
うち看護師	150人

⑥ 個人防護具の備蓄を十分に行う協定締結医療機関の数

協定締結医療機関（病院、診療所、訪問看護事業所）の8割以上が個人防護具の備蓄を十分に行う（当該医療機関の使用量の2か月分以上を備蓄）とする

⑦検査の実施件数（実施能力）、地方衛生研究所等における検査機器の数

	流行初期	流行初期以降
県全体	4,500件/日	12,500件/日
うち地方衛生研究所等 ※（ ）内はPCR検査機器数	650件/日（15台）	900件/日（16台）
県	300件/日（5台）	300件/日（5台）
さいたま市	100件/日（4台）	200件/日（4台）
川越市	90件/日（2台）	180件/日（3台）
川口市	80件/日（2台）	120件/日（2台）
越谷市	80件/日（2台）	100件/日（2台）
うち医療機関・民間検査機関	3,850件/日	11,600件/日

⑧協定締結宿泊施設の確保居室数

	流行初期	流行初期以降
確保居室数	1,000室	1,900室

⑨ 医療従事者や保健所職員の研修・訓練回数

医療従事者や保健所職員等の研修・訓練を年1回以上実施する

⑩ 保健所の感染症対応業務を行う人員確保数、IHEAT要員の確保数

(1) 流行初期1か月間において想定される業務量に対応する人数（応援含む） － 県全体で1,247人

	人員確保数		人員確保数		人員確保数
南部保健所	51人	坂戸保健所	32人	秩父保健所	26人
朝霞保健所	77人	狭山保健所	85人	さいたま市保健所	275人
春日部保健所	52人	加須保健所	31人	川越市保健所	91人
草加保健所	54人	幸手保健所	42人	川口市保健所	163人
鴻巣保健所	55人	熊谷保健所	63人	越谷市保健所	91人
東松山保健所	29人	本庄保健所	30人		

(2) 1年間以内のIHEAT研修受講人数 － 県全体で56人

県	さいたま市	川越市	川口市	越谷市
16人	15人	7人	8人	10人